

2009年度 修士論文

テキストマイニングを活用した建設業界に関するイメージ分析
Text Mining Analysis of Impression on Construction Business

2010年2月

指導教員 高木 方隆

高知工科大学 工学研究科 基盤工学専攻

社会システム工学コース

伊藤 昌明

第1章 研究概要

1-1. 研究の目的と期待される成果

本研究は、高知工科大学社会システム工学科に在籍する学生を対象に、建設業界に関するイメージを把握するためのアンケート調査を実施し、その調査結果をもとに、テキストマイニングを活用したイメージ分析を行うことで、建設業界の将来を担う学生のイメージからみた、建設業界の魅力再生に向けた課題を整理することを目的とする。

現在の公共事業の縮小、社会的信用の失墜などに代表される厳しい社会情勢の中で、建設業界が持つ本来の魅力が見失われつつある。その影響に端を発し、将来を担う若手技術者の離職問題や、学生の就職離れなどが進んできている。

こうした中で、建設業界の将来を担うべき学生が建設業界に対してどのようなイメージを持ち、どのような魅力ややりがいを感じているのかを明らかにすることは、建設業界の魅力再生を図る上で、その取り組みの一方方向性を示すものと考えられる。

本研究は、建設業界の魅力再生のための取り組みに対する一つの知見を与えようとするものである。

1-2. 研究の構成

本研究では、まず、第1章で研究の目的と期待される成果、構成について示した。

第2章では、現在の市民から見た公共事業観について既存資料をもとに整理した。

第3章では、建設業界の魅力とは何かについて整理し、魅力を構成する要素を抽出した。

第4章では、大手建設企業の将来の方向性の確認と、建設従事者が実感する魅力・不満の内容について整理した。

第5章では、学生の建設業界に関するイメージ分析のために、高知工科大学生を対象に実施した意識アンケート調査の概要を示した。また、調査で回答してもらった建設業界に対する良いイメージ、悪いイメージ、将来への期待についての自由記述文を形態素分析し、テキストマイニングを活用したイメージ分析の結果をまとめた。そして、設問設定方法や分析時間、導いた結論などの項目について、通常の実験回答形式での調査と比較評価することで、テキストマイニング手法の有用性を検証した。

以上の結果を踏まえて、第6章では、建設業界の魅力を構成する要素ごとに、業界・企業の将来の方向性と、建設従事者の魅力・不安の実感、学生の建設業界に関するイメージとを照合することで、学生のイメージからみた、建設業界の魅力再生に向けた課題を整理した。